

令和2年度 学校評価書【山形県立新庄神室産業高等学校真室川校】

教育目標

「校訓」(自律・誠心・挑戦)を根底に据え

- 1 課題解決のために自ら行動する力を育成する学校
- 2 一人一人の進路実現に向けたキャリア教育を実践する学校
- 3 心身の健康と安全に努める学校
- 4 地域の活性化に貢献できる学校
- 5 有益な情報の共有を図る学校

自己評価および学校関係者評価の基準	
A：達成	B：概ね達成
C：やや不十分	D：不十分

番号	評価項目	今年度の成果と課題	自己評価	次年度への改善点	学校関係者評価	学校関係者評価委員の意見・要望
1	教育方針 学校経営	<ol style="list-style-type: none"> ① 教育方針や学校経営に対して、生徒・保護者から評価が前年度同様に高く、関心や理解が得られている。 ② 本校とのキャンパス制の実施については、コロナ禍による制限を受けたが、「キャンパス制運営委員会」を中心に検討し、可能な限り交流活動を行った。 ③ 町からの支援を仰ぎながら分校化の教育活動を創意工夫しながら充実させてきた。その結果、地域から真室川校の教育活動に理解・共感をもっていただくことが多くなった。 ④ キャリア教育が系統的に実施されており、全職員による連携した指導体制が整ってきた。 	B	<ol style="list-style-type: none"> ① 「一人ひとりがキラリと光る真校」づくりの実現に向けた取組の維持・継続と、地域に信頼され活力あふれる教育実践を展開するとともに、引き続きPR活動や地域貢献活動を積極的に行い認知度を高める。 ② 少人数体制による教育活動をより確固にし、生徒と向き合う時間の確保に努める。会議の削減等に取り組み業務の整理統合を推進する。 ③ 安心できる学習生活環境を継続して生徒に提供する。また、地域に根ざす人材育成についてさらに検討する。 ④ 「真室川校魅力化に係る地域連絡協議会」と連携し、真校の魅力ある教育活動について協議していく。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍に際しても柔軟な対応で、生徒の教育機会・体験機会を奪うことなく活動できていた。 ○一人ひとりの生徒と丁寧に向き合う時間をたくさん取っていることは素晴らしい。これからも変わらず続けてほしい。 ○生徒が活躍する様子を積極的に発信して学校の認知度を更に高めてほしい。
2	学習指導	<ol style="list-style-type: none"> ① ユニバーサルデザインの視点を大切にしながら、思考力・判断力・表現力を育む言語活動を積極的に授業に取り入れ、アクティブラーニングを実践することができた。 ② 新学習指導要領を研究し、当校の特色を反映させた新教育課程の素案を編成することができた。 ③ 朝学習等を使った学び直しと基礎基本の定着に注力し、順調に進んでいる。 ④ 「自学ノート」を取り入れ家庭学習の定着に取り組み、家庭学習をする生徒を増やすことができた。生徒アンケートによる家庭学習の肯定的評価の割合が47%(R1)から68%(R2)に向上した。 ⑤ 学習について困り感を持つ生徒に対して細やかな指導ができた。 	B	<ol style="list-style-type: none"> ① 中学校との交流をさらに深めながら、家庭学習習慣や基礎的・基本的学習内容の定着と学習意欲の向上を促す学習活動の研究と推進に継続的に努める ② 新学習要領に向けた授業改善を検討する。 ③ 生徒の学習状況の現状を把握したうえで思考力・表現力を高めるための授業を工夫する。 ④ 自学ノートの活用及び朝学習を継続し、学習習慣の確立や学習の遅れがちな生徒への支援の在り方を検討する。 ⑤ 図書館利用の実践例を参考に、魅力ある図書館作りを研究し利用拡大を図る。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○基礎・基本の大切さをしっかり定着させる取組を行っている。 ○「自学ノート」を有効活用し、家庭の協力を得ながら学習習慣をつける取組を継続してほしい。 ○図書館利用率の低下が課題。魅力ある図書館にするために展示方法などに生徒のアイデアを取り入れてほしい。
3	進路指導	<ol style="list-style-type: none"> ① 「キャリア学習講座」や「ソーシャルスキル学習講座」は進路意識の高揚に一定の成果があった。 ② インターンシップや「進路を考えるDAY」などの進路学習会をとおり、多様化する進路に対し、生徒一人ひとりに対応する指導体制を維持・継続できている。 ③ 進路だよりを発行し、進路に関わる情報提供ができた。 ④ 多くの教育活動においてキャリア教育を軸に展開し、学習意欲及び進路意識の高揚、さらに地域理解・貢献につながった。 ⑤ キャリアパスポート導入に伴い、キャリア教育プログラム(冊子)の見直しを図った。 	B	<ol style="list-style-type: none"> ① 早期離職対策として、コミュニケーション力やソーシャルスキルの向上を目指した指導方法を検討する。 ② 早期に進路目標を明確にするために面談活動を細やかに継続・推進する。 ③ キャリア教育を軸とし、3年間を見通した進路指導を全職員共通理解のもと推進する。 ④ 進路だよりを継続して発行し、進路に関する情報提供を行っていく。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○校内に先輩たちの進路状況などの掲示があったが、生徒たちが将来を具体的にイメージするよい方法だと思う。 ○卒業後、早期に進学先を退学したり離職したりする生徒の相談に乗ってもらえる対策をお願いしたい。 ○地域の協力を得ながら将来地元で活躍できる人材育成をお願いしたい。

番号	評価項目	今年度の成果と課題	自己評価	次年度への改善点	学校関係者評価	学校関係者評価委員の意見・要望
4	生活指導	<p>① キャリア教育に基づいた生活指導が維持できた。(日常のあいさつ運動、身だしなみ指導、問題行動・いじめ防止など)</p> <p>② キャリア教育に基づいた生徒会指導が維持できた(全校ボランティア、体育祭、真校祭、生徒集会など)。生徒アンケートによる生徒会活動等への積極的参加の肯定的評価の割合が92%(R1)から95%(R2)に向上した。</p> <p>③ 縦割り班による活動が定着・機能し、学校祭をはじめとする行事及び諸活動で成果が上がった。</p>	B	<p>① 現行の指導を維持するため、随時検討しながら生徒指導を推進する。</p> <p>② いじめやスマホの利用について新入生に対する早期の指導を行い、問題行動の未然防止に努める。</p> <p>③ 縦割り班活動を継続し、様々な場面で取り入れ、学年間交流をととしたコミュニケーション力の育成を図る。</p>	A	<p>○縦割り班活動はよいことだと思う。校外でもボランティア活動も更に充実させてほしい。</p> <p>○社会全体の課題でもあるが、スマートフォンの使用方法についての指導をさらに充実させてほしい。</p> <p>○あいさつの声が少し小さいのは気がかり。コミュニケーション能力の育成を図り、相手に伝える能力の向上を望む。</p>
5	健康安全	<p>① 全校生への「命の教育」「薬物乱用防止」講話を行い、心身の健康について意識を高めることができた。</p> <p>② 職員会議時の生徒理解のための情報交換会やステューデント・サポート(SS)委員会を行い、特別な支援の必要な生徒の支援ができた。</p> <p>③ スクールカウンセラー(SC)の配置により、困り感を持つ生徒への手当てができた。</p> <p>④ 歯磨きの習慣化を目指し、校内でのブラッシングを励行した。</p>	B	<p>① 眼科・歯科の受診率のさらなる向上を図る。</p> <p>② 学年での適時的なケース検討会を行い、特別支援の体制をさらに整える。</p> <p>③ 特別支援学校や外部支援施設との連携・協力体制の構築を継続検討する。</p> <p>④ スクールカウンセラーと連携し、生徒のシグナルの早期発見、早期対応に努める。</p> <p>⑤ 緊急連絡体制を周知徹底し、さらにメール連絡網「マ・メール」への加入促進を図る。</p> <p>⑥ 基本的な生活週間を身につけさせ、健康管理の意識向上に努める。</p>	B	<p>○いのちの教育は今後も継続してほしい。</p> <p>○歯磨きなどの基本的な生活習慣の指導は、義務教育後の学校で行うべきものなのかな少々疑問に思う。</p> <p>○生徒が家庭に受診票を持ち帰ってくることもあるが、実際に治療せず学校に提出しないままに終わっていることがあるので、改善をお願いしたい。</p> <p>○家庭と協力してゲーム依存による生活習慣の乱れを防ぎ、規律正しい生活が送れるような指導をお願いしたい。</p>
6	地域連携 その他	<p>① 毎年参加してきた真室川祭踊りパレードが中止となり、生徒が活躍する場がなくなったことは、非常に残念で痛手だった。全校ボランティアは2回実施することができ、生徒の勤労観を育成することができた。</p> <p>② 学校行事の様子やボランティア活動、校内でのあいさつ運動等の様子を、町民の皆さんに知ってもらう手立てとして情報誌「ふきのとう」やホームページの更新を定期的実施できた。</p> <p>③ 就学支援金やスクールバス利用など、学校及び生徒に対して、町から大きな経済的支援を受け、充実した教育活動を行うことができた。</p> <p>④ コロナ禍の影響により、PTA総会、同窓会総会を開催することができなかった。</p>	B	<p>①校内安全管理の徹底について ・校内の施錠や消灯が間違いなくその日のうちに行われるように、教職員で共通した認識を持つとともに、学校警備員が学校側で決めた時間に巡回するよう強く要望していく。</p> <p>②PTA・同窓会活動について①校内安全管理の徹底について ・校内の施錠や消灯が間違いなくその日のうちに行われるように、教職員で共通した認識を持つとともに、学校警備員が学校側で決めた時間に巡回するよう強く要望していく。</p> <p>②PTA・同窓会活動について ・コロナ禍においても、PTAや同窓会の各事業が実施、またはそれと同等となるような成果が得られるよう方策を検討していく。</p> <p>・PTA・同窓会として「真室川校魅力化に係る地域連絡協議会」に対し、どのようにかかわっていけるのか情報を収集し検討していく。</p> <p>③マ・メールの活用について ・今年度上がったマ・メール加入率が下がらないよう、文書などを通じて手立てを講じる。引き続きシステムについて課員で研修し、複数で情報を発信できる体制にする。</p> <p>・コロナ禍においても、PTAや同窓会の各事業が実施、またはそれと同等となるような成果が得られるよう方策を検討していく。</p>	A	<p>○地域等との関わりは生徒たちを大きく成長させることにつながると思われるので、これからも大切にしてもらいたい。</p> <p>○PTA関係者は、子どもの卒業とともに学校との関係が希薄になる。しかし今後の真室川校の行方を気にかけているので、旧PTA関係者にも情報が届くような取組を期待したい。</p> <p>○地域からの理解を深めるためにもボランティア活動のさらなる充実をお願いしたい。</p> <p>○「真室川校魅力化地域連絡協議会」については、PTAや同窓会の協力が必要だと思うが、それ以上に生徒を中心に据え、活力ある様々な活動の中から魅力化を図ることが重要だと思う。</p>

			<ul style="list-style-type: none">・PTA・同窓会として「真室川校魅力化に係る地域連絡協議会」に対し、どのようにかかわっていけるのか情報を収集し検討していく。③マ・メールの活用について・今年度上がったマ・メール加入率が下がらないよう、文書などを通じて手立てを講じる。引き続きシステムについて課員で研修し、複数で情報を発信できる体制にする。		
--	--	--	--	--	--